

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

特別研修会「地域で安心して暮らすために」

【日 時】 令和8年(2026年)11月6日(金) 13時00分～16時15分(受付12:30～)
【会 場】 新ひだか町公民館 2階・大集会室
【参加対象】 障がいのあるご本人・ご家族、福祉・教育・行政関係者
関心のある一般町民
【参加費】 無 料



【講演Ⅰ】『暗中模索 ～労働力不足と利用者の高齢化への対応～』

講師：社会福祉法人 北海道社会福祉事業団
だて地域生活支援センター 所長 東山 浩史 氏

労働人口減少と利用者の高齢化が顕著になりつつあるなか、町で暮らす障がいのある人たちの支援は、これまでの方法では対応が難しくなってきました。伊達市におけるこれまでの取り組みを振り返りつつ現状を見極めながら、これからの事業所運営と支援の方向性を考えてみたいと思います。



昭和 60 年 3 月 日本福祉大学社会福祉学部卒業
昭和 60 年 4 月 社会福祉法人北海道社会福祉事業団入職 太陽の園
平成 17 年 4 月 白糠学園総務課長
平成 21 年 4 月 太陽の園総務部長
平成 28 年 11 月 とまこまい地域福祉支援センター所長
令和 3 年 4 月 太陽の園総合施設長
令和 5 年 4 月 だて地域生活支援センター所長(現職)

【講演Ⅱ】『障がいがあっても、地域で安心して暮らすために

～本人として、親として、支援者として～

講師：特定非営利活動法人 伊達市手をつなぐ育成会 会長 小林 繁市 氏

21 世紀の障がい福祉の最大のテーマは、障がいのある人もない人も、ともに暮らすことのできる「地域共生社会」を実現していくことにあります。しかし、障がいのある人たちを支える仕組みは極めて不十分で、多くの本人や家族は「地域の中にサポートしてくれる人やサービスはあるのか」「自分(親)がいなくなった後、我が子は地域で安心して生活していけるのか」など、様々な心配や悩み、将来的な不安を抱えながら暮らしています。

本人として、親として、支援者としての実体験を踏まえつつ、「親子、家族、暮らし、幸せ、福祉」をキーワードに、「障がいのある人の人生」と「ともに生きる地域づくり」について考えます。



昭和 44 年 北海道社会福祉事業団「北海道立太陽の園」に児童指導員として奉職
生活指導員、ソーシャルワーカー
授産施設希望ヶ丘学園園長、更生施設第一青葉学園園長、だて地域生活支援センター所長を歴任
平成 20 年 北海道社会福祉事業団太陽の園総合施設長
令和 3 年 伊達市手をつなぐ育成会会長(現職)
北海道知的障がい福祉協会理事

主 催：一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

共 催：特定非営利活動法人 静内耕生舎 新ひだか町手をつなぐ育成会 北海道生活サポート協会

後 援：新ひだか町 社会福祉法人 新ひだか町社会福祉協議会 日高管内手をつなぐ育成会連絡協議会

協 賛：一般社団法人 全国生活サポート協会

お申し込みは裏面の参加申込書にご記入のうえ、FAXまたはメールで下記にお送りください。

【参加申込先】 特定非営利活動法人 静内耕生舎

FAX：0146-49-0509 メール：kouseisya@air.ocn.ne.jp